

課題番号24

水稻を基幹とした持続可能な複合経営の確立

～ 基盤の強化で夢もてる農業の実現を！！ ～

対象：深川市納内・東豊地区(14戸)

1 活動の背景

■地域の現状

- 水稻を中心とし畑作、園芸を含めた複合経営を展開
- 令和3年より大規模な基盤整備が本格化している
- 水稻及び複合品目の安定生産で所得向上を図りたい
- 経営規模の拡大や労働力不足に伴い、省力化技術やスマート農業技術導入への関心が高まっている

■活動の方向性

- 「①地域の生産性・収益性の向上」
基盤整備に備えた水稻省力化技術
- 「②地域後継農業者のスキルアップ」
複合品目の収量・品質向上
⇒ 安定生産による所得の確保

2 活動の経過

■ 具体的推進事項①「地域の農産物生産性及び収益性の向上」

- 普及対象：水稻栽培農業者12戸
- 目標：省力化技術導入農家戸数 【現況2戸 ▶ 目標3戸】

①目標事項：水稻の省力化技術定着化

- 湛水直播栽培、乾田直播栽培、密苗栽培を中心とした水稻省力化栽培技術の定着に向けて育苗巡回、定期巡回による技術支援及び生育調査を行った。
- 秋の研修会では、令和5年度の作柄の概要と今後の作付けの注意点について報告した。



写真1 育苗巡回で農業者と生育確認

■ 具体的推進事項②「地域を担う農業者のスキルアップ」

- 花き類の品質向上
- 普及対象：地域後継花き栽培農業者5戸
- 目標：基本技術実践農家戸数 【現況0戸 ▶ 目標3戸】
- 畑作物の収量安定化
- 普及対象：地域後継畑作栽培農業者2戸
- 目標：基本技術実践農家戸数 【現況0戸 ▶ 目標2戸】



写真2 花き栽培ほ場の調査

①目標事項：花き類の品質向上

- ひまわり、シネンシス、アスチルベ、りんどう栽培において課題設定を行い、実践に向けて技術支援を行った。

品質は向上したかな？

②目標事項：畑作物の収量安定化

- 秋まき小麦の基本技術について情報を提供し、改善計画を作成した。
- 視察研修会を開催し、水田転作の新たな品目として、子実用とうもろこしの栽培事例について紹介した。



写真3 ひまわりほ場の生育確認

3 成果の具体的内容

■ 地域の農産物生産性及び収益性の向上 ① 水稻の省力化技術定着化 ⇒ 対象者12戸

到達度：133%

○ 省力化技術導入農家戸数 目標：3戸 ⇒ 実績：4戸

表1 密苗調査結果

農家名	品種	育苗様式	苗質 ※1	初期生育	成熟期	精玄米重 ※2
				茎数 (本/㎡)	穂数 (本/㎡)	
K	えみまる	密苗	○	276	638	674
D	ゆめびりか	密苗	△	296	613	609
重点地区平均				302	568	623

※1 苗質評価指標：第一鞘高、草丈、葉数、乾物重の4項目 ×：0個 △：1-2個 ○：3個以上
※2 精玄米重ふるい目：1.90mm

表2 直播調査結果

農家名	品種	栽培様式	苗立本数 (本/㎡)	初期生育	成熟期	精玄米重 (kg/10a)	
				茎数 (本/㎡)	穂数 (本/㎡)		
A	えみまる	湛水直播	266	1,054	1,022	617	
M	えみまる	乾田直播	140	730	746	530	
重点地区平均(移植栽培)				-	302	568	623
栽培目標				150	660		

※精玄米重ふるい目：1.90mm

- 密苗栽培：適期移植により生育は順調に進み、地区平均並み～やや多い収量を確保できた。
- 直播栽培：両者ともに生育は順調であった。来年度から取り組み面積の拡大を計画している。

■ 地域を担う農業者のスキルアップ ① 花き類の品質向上 ⇒ 対象農業者5戸

到達度：133%

○ 基本技術実践農家戸数 目標：3戸 ⇒ 実績：4戸

- 土壌分析による土壌pHの改善・適切な追肥管理により十分な採花本数を確保できた(ひまわり)。
- 適切な温湿度管理と防除により病害虫の発生を抑えることができた(ネンシユ)。
- 薬剤試験により、一定の防除効果を確認することができた(りんどう)。

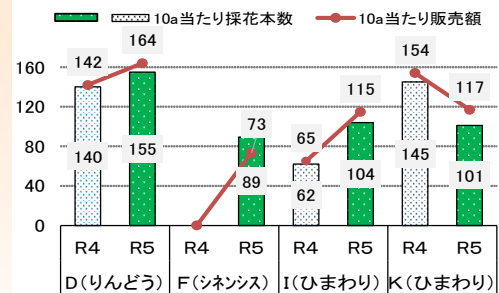


図1 花き品目の10aあたり採花本数・販売額
(生産部会平均を100とした・品目毎のR4、R5比較)

② 畑作物の収量安定化 ⇒ 対象農業者2戸

- 基本技術の実践には至らなかったものの、栽培の現状を把握し、改善計画を立てた。
- 秋まき小麦の改善計画を実施するために、調査ほ場を設置した。



写真4 稲WCS栽培ほ視察



写真5 子実用トウモロコシ視察



写真6 秋の研修会

4 今後の課題と対応

■ 地域の農産物生産性及び収益性の向上

○ 水稻省力化技術の定着化

- ・ 栽培技術レベルのさらなる向上を目指し、技術支援を継続する。
- ・ 基盤整備後の施肥管理について、情報提供などの支援を行う。

■ 地域を担う農業者のスキルアップ

○ 花き類の品質向上

- ・ 基本技術の実施に向けて支援を継続する。

○ 畑作物の収量安定化

- ・ 改善計画を実行するために情報提供と巡回を実施する。